

脚本・演出：小川絵梨子

装置：小倉奈穂
照明：齋藤茂男
音響：那須野幸太郎
衣裳：生田志織
演出助手：渡邊千穂
舞台監督：桑井靖啓

演出部：中嶋 愛 成瀬正子
照明部：磯野眞也 足立昌弥
衣裳助手：千葉奏子

協力：シアタークリエイション
スマイルステージ
ATELIER PAA
GOAT
上土劇場

制作：飯野千恵子
制作助手：牛島 青
票券：宮澤美穂
プロデューサー：小川知子

主催：一般財団法人松本市芸術文化振興財団
後援：松本市 松本市教育委員会
企画制作：まつもと市民芸術館

 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
 独立行政法人日本芸術文化振興会

まつもと市民芸術館

芸術監督：串田和美

プロデューサー：小川知子
舞台技術部長：那須野幸太郎

企画制作：草野広樹 飯野千恵子 竹内亜希子 牛島 青
広報：米澤芳子
票券：宮澤美穂 塩入由香里
貸館：藤阪章彦 丸山久美 玉井敏敬 犬飼智絵 陸川亜子
総務：百瀬公明 矢島日登美
舞台機構：桑井靖啓 浅輪浩志 相澤敏明 高井龍弥
照明：唐沢隼人 赤坂正人 木田村美央
音響：久保田肇 桐田優子 沼田侑希

芸術監督補佐：水戸雅彦
支配人：山岸尚志

TCアルププロジェクト2020『じゃり』 アンケート協力をお願い

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。今後の活動の参考に、WEBアンケートのご協力をお願いいたします。
こちらのQRコードを読み取りいただき、表示されますアンケート画面にてご回答ください。



脚本・演出 小川絵梨子

じゃり

TC-ALP PROJECT 2020

TCアルププロジェクト2020

2020年

7.16^④～18^⑤

まつもと市民・芸術館 小ホール

7.22^③～26^⑧

上土劇場

脚本・演出 **小川 絵梨子**

本作「じゃり」は、アルフレッド・ジャリという実在の作家の生きざまから発想を得ています。ジャリは1920年代にフランスで活躍した作家で、『ユビュ王』という不条理劇を書いて有名になりました。「道徳的」で「正しい」演劇作品が多い中で、『ユビュ王』の幕開けのセリフはいきなり「クソツタレ！」。

初日には、この一言で客席は騒然となり、野次が飛ぶわ、席を立てて出ていく人はいるわ、客同士で言い合いが始まるわで、結局15分間も芝居が止まってしまったそうです。

幕開けの一言でこんなことになるなんて、後にも先にも『ユビュ王』だけじゃないかと思います。

この15分間、ジャリ本人は何を思っていたのか・・・。「してやったり!」だったのか「そうじゃない!」なのか・・・・。そんな事を考えているうちに、ジャリという人物に興味を持つようになりました。

本作品の中に出てくるアルフレッド・ジャリの逸話や手紙の文章などは史実に基づいていますが、それ以外はあくまで「じゃり」です。脚本作りの段階から、串田和美さんをはじめ、アルバのみなさんやスタッフの方々が関わって下さり、私一人では到底辿り着けなかった物語ができました。

最後になりましたが、ご来場くださった皆様、まつもと市民芸術館、上土劇場、松本の市民の皆さま、今回のチームのみなさま全員にこの場をお借りして深く御礼申し上げます。

Ogawa Eriko

1978年生まれ。東京都出身。2004年、アクターズスタジオ大学院演出部卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外派遣制度研修生。18年9月より新国立劇場の演劇芸術監督に就任。近年の演出作品に、『じゃり』『ART』『タージマハルの衛兵』『死と乙女』『骨と十字架』『WILD』『熱帯樹』『スカイライト』『出口なし』『1984』『マクガワン・トリロジー』『FUN HOME』『The Beauty Queen of Leenane』『死の舞踏／令嬢ジュリー』『RED』『スポケーンの左手』等。

まつもと市民芸術館 芸術監督 **串田 和美**

演出家小川絵梨子さんは以前TCアルバのメンバーとアルフレッド・ジャリの書いた『ユビュ王』という芝居を演出したことがあります。そしてあれから五年以上の時が流れ、今度はその『ユビュ王』の作者アルフレッド・ジャリを題材にした芝居を作りたいという彼女の提案から今回の『じゃり』が生まれました。この提案を受けた時、僕は大層戸惑いました。普段彼女は僕の舞台の作り方とはずいぶん違う、きちんとした戯曲にもとづく正統的な作品作りをする人だと思っていたからです。果たしてこの稽古が始まった時、彼女は僕らの前に、大きな真っ白な地図を無邪気に広げました。それは一見本当にただの白い紙のようにも見えました。けれどその白い地図を指し示しながら、彼女の言葉や微笑みを紡いでいくと、そこには壮大な演劇の構想、願いが浮かび上がってきて、僕らはすっかり有頂天になったのです。やっぱり彼女もまた魔法（アート）の使い手であったのです。

『じゃり』をより理解するために

【 アルフレッド・ジャリ 】

1873年、フランス生まれ。幼少期からずば抜けて知能が高く、中学終了時に国家試験に正規の年齢に達していないにもかかわらず合格。大学以降はスポーツに熱中し、超人的な記録を残した。23歳で戯曲『ユビュ王』を発表。酒以外のものをほとんどとらないという特異な生活が災いし1907年34歳の若さでこの世を去った。

【 『ユビュ王』 】

ジャリの戯曲。1896年、パリで初演の際、卑猥なセリフの連続に客席は騒然となり、大スキャンダルを巻き起こした。

【 くそつたれ! 】

『ユビュ王』の冒頭のセリフ。初演時このセリフが物議をかもし、上演が15分止まった。

【 ユビュ親父 】

『ユビュ王』の登場人物。妻のユビュおっ母にそそのかされ国王を殺し、悪政の限りを尽くすが、王子の復讐により、あっさり逃亡し、諸国漫遊の旅にでる。傲慢で幼稚、怖がりで自分本位の性格。

【 ぐるぐる 】

1896年4月に出版された『ユビュ王』の表紙には、お腹に大きなぐるぐるのついた、ジャリ自身の手によるユビュの肖像が描かれている。

【 緑 】

ジャリは顔、首、両手、両手首を緑色に塗ってカフェに現れたことがある。緑が好きだったのかもしれない。

【 ラシルド 】

本名マルグリッド・エムジー。ジャリ唯一の女友達。男装し、ラシルドという男性名で執筆し、最近では元祖BL作家とも称されている。

出 演



串田 和美

Kushida Kazuyoshi

1942年生まれ。東京都出身。俳優、演出家、舞台美術家。2003年よりまつもと市民芸術館芸術監督。1966年劇団自由劇場結成。85年～96年東急Bunkamuraシアターコクーン初代芸術監督。『もっと泣いてよフラッパー』『上海パンスキング』『スカパン』『月夜のファウスト』コクーン歌舞伎『夏祭浪花鏡』『白い病気』等を演出。



下地 尚子

Shimoji Naoko

1989年生まれ。神奈川県出身。2011年日本大学芸術学部演劇学科在学中、まつもと市民芸術館との共同制作舞台『ヨサブロウ』に出演。12年、TCアルバに入団。近年の出演作に『空中キャバレー』（串田和美演出）、『ユビュ王』（小川絵梨子演出）、『人間ども集まれ!』（木内宏昌演出）、『モンスターと時計』（森新太郎演出）等。



近藤 隼

Kondo Jun

1984年生まれ。東京都出身。日本大学芸術学部演劇学科卒業。2007年TCアルバの旗揚げに参加。主な出演作に『もっと泣いてよフラッパー』『K.テンベスト』『Mann ist Mann』（串田和美演出）、『オセロ』『テンベスト』（白井晃演出）、『ユビュ王』（小川絵梨子演出）、『モンスターと時計』（森新太郎演出）等。



深沢 豊

Fukazawa Yutaka

1975年生まれ。大田市出身。串田和美、加藤直の作品に衝撃を受け、2014年まつもと演劇工場参加。17年、TCアルバ入団。ゲーム制作も行っており代表作は『セカンドノベル』。近年の舞台出演作に『jam』（串田和美演出）、『ケンジ旅行記』（加藤直演出）、『モンスターと時計』（森新太郎演出）等。



武居 卓

Takei Taku

1985年生まれ。岐阜県出身。日本大学芸術学部演劇学科を中退し、2007年にTCアルバの旗揚げに参加。以後、長野県松本市を拠点に活動。驚異的な虫嫌い。近年の出演作に『空中キャバレー』『K.テンベスト』『Mann ist Mann』『月夜のファウスト』（串田和美演出）、『ユビュ王』（小川絵梨子演出）、『モンスターと時計』（森新太郎演出）等。



細川 貴司

Hosokawa Takashi

1981年生まれ。高知県出身。2004年日本大学芸術学部演劇学科卒業後『コーカサスの白墨の輪』で串田作品に初参加。07年TCアルバの旗揚げに参加。以後、長野県松本市を拠点に活動している。近年の出演作に『空中キャバレー』『K.テンベスト』（串田和美演出）、『ユビュ王』（小川絵梨子演出）、『モンスターと時計』（森新太郎演出）等。



草光 純太

Kusamitsu Junta

1977年生まれ。神奈川県出身。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、兵庫県立ビッコロ劇団入団。在団中から『コーカサスの白墨の輪』『幽霊はここにいる』など串田和美演出作品にも多数参加。退団後も様々な舞台を経て、2017年の『土砂降りボードビル』（TCアルバ演出）よりTCアルバに入団。近年の作品は『K.テンベスト』『Jam』（串田和美演出）等。



坂本 慶介

Sakamoto Keisuke

1991年生まれ。千葉県出身。2014年コクーン歌舞伎『三人吉三』（串田和美演出）にて本格的に舞台デビュー。その後『K.テンベスト』『白い病気』と串田作品にこれまで6作品に参加。待機作に、映画「甘いお酒でうがい」（大丸明子監督）、ドラマ「桶狭間」（フジテレビ）、舞台「KYODEN'S WOMAN」（長塚圭史演出）等。



毛利 悟巳

Mori Satomi

1991年生まれ。東京都出身。日本大学芸術学部演劇学科卒業。ワークショップ公演『トゥーランドット』（串田和美演出）に参加。主な出演作に、『水の駅』『グリークス』（杉原邦生演出）、『走り去る人たち』（永井愛演出）、『あの記憶の記録』（日澤雄介演出）等。『相棒15』（テレビ朝日）他、写真や映像作品にも多数参加。



田村 真央

Tamura Mao

1998年生まれ。塩尻市出身。2017年明治大学文学部文学科演劇専攻入学、同年文学座附属演劇研究所入所(57期生)。18年、文学座アトリエ公演「かのような私-或いは斎藤平の一生-」（作：古川健、演出：高橋正徳）にて、研修科生で唯一抜擢され、初舞台を踏む。3年間文学座で研鑽を積み、本年3月卒業。フクダ&Co.所属。